

# 更年期症状に対する就労更年期女性へのWellnessに向けた健康教育プログラムの検討ー認知に焦点をあてた介入プログラムの効果ー

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 永谷, 実穂 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003355">https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003355</a>

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 17 号

更年期症状に対する就労更年期女性への Wellness に向けた健康教育プログラムの検討ー認知に焦点をあてた介入プログラムの効果ー

(Examination of the Health Education Program to Working Menopausal Women for Climacteric Symptoms for Wellness -Effect of the Intervention that Focused on Cognition-)

永谷 実穂 (ながたに みほ)

博士 (看護学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、就労更年期女性の更年期症状に対する影響要因について、**Health-illness perception** 概念に基づく実証的検討、さらにはウェルネスに向けた健康教育プログラムの開発、効果の検証を行った先駆的な研究である。研究 1 では WEB による質問紙調査が実施され、更年期のとらえ方、仕事から家庭および家庭から仕事へのスピルオーバー、GSES、HLC など、内在的な誘因および仕事における人間関係要因が、更年期の健康状態および更年期症状に影響を及ぼすことが明らかとなった。研究 2 では認知への介入の必要性に基づいた健康教育プログラムが開発された。就労する 45～60 歳の女性を対象に対面 3 回、ホームワークとメールでの介入が行われ (介入群 8 名、対照群 12 名)、介入群の GSES の得点が 2 か月後に有意上昇、自由記述データの分析では、更年期のとらえ方に関する肯定的方向への認知の変化を認め、更年期症状への対処法を行うことで更年期女性が自覚する更年期症状の緩和および軽減することが示唆され、開発されたプログラムが心のありようの変化を通して **wellness** への向上に寄与する可能性が示された。今後も開発されたプログラムのさらなる検討や、エビデンスを積み重ねることを期待し、看護学研究の発展に寄与する論文と判断した。よって、本論文は博士 (看護学) の学位を授与するに値するものと判定した。